

NASEF JAPAN

第 4 回全日本高校 e スポーツ選手権

リーグ・オブ・レジェンド部門 ルールブック

1	序文 2	
2	本大会の構造	2
3	予選	3
4	決勝	4
5	ゲームのルール	6
6	選手の行為	10
7	ルール意図	12

第二版 2026 年 08 月 17 日

3 予選 3)対戦形式 ②対戦カスタムルーム サイドについて

5 ゲームのルール 5)対戦用カスタムルーム

上記 2 点について追記

1 序文

特定非営利活動法人国際教育 e スポーツ連盟ネットワーク 日本本部が主催する「NASEF JAPAN 第4回全日本高校eスポーツ選手権」のリーグ・オブ・レジェンド部門（予選及び決勝を含めて、以下「本大会」という）の公式ルール（以下、「本ルール」）は、本大会に参加申請を行った全チーム、チーム管理者、その他本大会に関与する関係者の全員に適用されます。

本ルールは、本大会における競技の公平性、及び健全な大会運営を担保するため、主催：特定非営利活動法人国際教育 e スポーツ連盟ネットワーク日本本部及び選手権事務局（以下、「選手権事務局」）によって制定されています。

2 本大会の構造

1) スケジュール

エントリー受付： 2026年7月1日（水）～9月10日（木）18:00

予選： 2026年9月26日（土）27（日）

決勝： 2026年12月19日（土）

※同じ学校から複数チーム出場される場合、

出場チーム・選手分のPC・アカウントをご用意ください。

ご用意頂けないと、同じ時間帯で試合が組まれた場合、

試合が実施できないチームが発生しますのでご注意ください。

※全開催日、どの時間帯に試合が組まれても参加出来るようお願いします。

※全ての対戦において、日付・時間の要望はお受けできません。

なお試合に参加できない場合は失格になりますのでご注意ください。

2) 会場

予選： オンライン上での対戦となります。

決勝： オフライン会場（東京予定）にて実施されます。

配信が行われ、大会及び試合の様子は公開されます

3) 使用タイトル

ゲームタイトル： リーグ・オブ・レジェンド（League of Legends 以下 LoL という）

プラットフォーム： PC

3)参加要件

トーナメントドラフトピックをプレイする為に必要なチャンピオン 20 体を満たしていること。

3 予選

1)参加可能チーム数

受付期間内にエントリーをした東日本全日制ブロック所属高校、東日本定時制通信制ブロック所属高校、西日本全日制ブロック所属高校、西日本定時制通信制ブロック所属高校の各ブロック最大 128 チームの合計 512 チームが参加可能です。
なお、同一の学校からは 10 チームまで出場することができます。

2)大会進行形式

- ① トーナメント形式
シングルエリミネーション形式を採用
- ② トーナメントの組分け方法
選手権事務局にて参加チームをランダムに組分け、トーナメントに落とし込むものとします。
- ③ 大会運営システム
試合時の選手権事務局とのコミュニケーションは Discord（ディスコード）を使用します。
また、大会進行及び諸事項の連絡に Discord を使用します。
※Discord とは・・・ボイス、ビデオ、テキストのコミュニケーションサービス。

3)対戦形式

- ① 試合内容
Bo1（Best of 1、1 戦中 1 勝する）にて対戦を行います。
- ② 対戦カスタムルール

マップ	サモナーズリフト
チーム人数	5vs5
ゲームタイプ	トーナメントドラフトピック

サイドは、トーナメント表で上または左側が青、下または右側を赤とします。

4)使用機材

予選にて使用する機材は、各チーム・個人にて用意した機材を使用するものとします。

5)ソフトウェアとその使用

ボイスチャットツール、自チーム試合の録画を目的とした使用は制限しません。
Discord 上での一切の配信・画面共有を禁じます。
チートツールは使用不可とします。
その他のソフトウェアの使用に関しては、LoL の規約に則してください。

6)試合の配信

選手権事務局を除いて、試合中の競技映像を生配信することは不可とします。

4 決勝

1)参加可能チーム数

決勝：予選を勝ち上がった各ブロックの代表 4 チーム

2)大会進行形式

決勝はオフライン会場にて大会は進行されます。

選手はオフライン会場にてプレイを行います。なお、大会の様子は配信にて公開されます。

シングルエリミネーション形式を採用します。

3)対戦形式

① 試合内容

準決勝は BO1 (Best of 1) にて対戦を行います。

決勝は BO3 (Best of 3) にて対戦を行います。

② 対戦カスタムルーム

マップ	サモナーズリフト
チーム人数	5vs5
ゲームタイプ	トーナメントドラフトピック
使用クライアント	トーナメントクライアント ※使用クライアントは別途運営事務局から指定いたします。
サーバー	Tokyo

サイド選択は Discord にて運営の元・両チームと事前に行います。

また、決勝戦における 2 戦目以降のサイド選択権は前試合で敗北したチームに与えられます。

4)使用機材

① 使用機材内容

決勝にて使用する機材は選手権事務局から提供された機材以外は

各チーム・個人にて用意した機材を使用するものとします。

なお、選手権事務局が提供する全ての機材は、

選手権事務局の単独かつ絶対の裁量により選択されるものとします。

② 選手用意機材のデバイスチェック

1) オフライン決勝会場でのデバイスチェックについて

決勝大会時にはデバイスチェック時に持ち込んでいない機材は使用できません。

デバイスチェックの時間は 15 分を予定しています。

2) デバイスの管理について

デバイスや貴重品は自己管理をお願いします。

万が一紛失等のトラブルが発生した場合でも、主催並びに運営事務局は責任を負いかねます。

3) モニター設定・ゲーム内設定について

事前に各選手は自身のモニター設定・ゲーム内設定を記録し

デバイスチェック時にモニター設定・ゲーム内設定を必ず設定できるか確認を行い、

各試合前速やかに調整してください。

なお、本番時にポーズをして設定を変更することは不可とします。

また自身のモニター設定・ゲーム内設定を再現できない場合でも、

主催並びに運営事務局は責任を負いかねます。

5)選手もしくはチームが所有する機材

選手は、自分もしくはチームが所有する以下のカテゴリーに含まれる機材を対戦エリアに持ち込み、これらを本大会で使用するすることができます。

① PC のキーボード

② PC のマウス及びマウスバンジー

③ マウスパッド

対戦エリアでは、選手権事務局が提供したものではないヘッドセット、イヤホン及びマイクを選手が持ち込み、使用、または着用することを一切禁止します。

選手権事務局は独自の裁量により、トーナメントのセキュリティ、安全性、運用上の効果や効率などに関する理由で、あらゆる個別の機材の使用を禁止する権限を保持します。

6)配信上での出演/インタビューについて

決勝では、ゲームプレイのほか指定のタイミングでステージ上にてご出演をいただきます。

※試合前後におけるインタビューを含みます。

決勝に参加するチームメンバーは会場にて行われるインタビューやリハーサルへの参加を義務とします。

7)選手の服装

各チーム、選手自身が用意したユニフォームまたは制服を着用する様にお願いします。

※パーカー・ジャージなどをユニフォームの上から着用することはできません。

ロングタオル・毛布などの着用も認められません。

※各自で下に無地ロングTシャツ等の着用は可能です。

※大会側からインタビューの要望があった場合もユニフォーム、

または制服を着用しインタビューに対応してください。

顔が隠れるようなマスクや帽子の着用は禁止です。

ハーフパンツやかかとのない靴、かかとのつぶれた靴なども禁止とします。

8)ソフトウェアとその使用

選手が許可なく自前のソフトウェアをインストールすることは一切禁止です。

いかなる理由であれ、選手権事務局の PC に必要でない機材、例えば携帯電話、フラッシュドライブ、MP3 プレイヤーなどを接続することを禁止します。

9)アカウント

選手は、運営事務局から配布されたトーナメントアカウント及びゲームアカウントを使用する必要があります。ゲーム内選手名は、公序良俗、著作権、肖像権、選手権事務局または第三者の知的財産権、プライバシー、名誉その他の権利または利益を損害しないものである必要があります。

10)オーディオ・コントロール

選手は選手権事務局が指定した最低設定以上に、音量レベルを保つ必要があります。

選手権事務局は、選手の音量が低すぎると判断した場合、音量を調節するよう要請する権利を保有します。ヘッドフォンは選手の耳に直接的に装着され、ゲームが行われている間その状態が保たれる必要があります。いかなる方法であれヘッドフォンの装着を妨げることや、帽子、スカーフその他の衣装を含む何らかの物体をヘッドフォンと耳の間に挟むことは禁止します。

5 ゲームのルール

1)用語の定義

① ゲーム

本大会指定のゲームマップにて、以下の条件のうちいずれかが発生することで勝敗が決定するまでプレイされる、競技の過程を指します。

- ・ ネクサスの破壊（敵本陣の破壊）
- ・ チームの棄権、（試合中のサレンダーは不可とします。 後述）
- ・ 選手権事務局の判定による勝敗の決定

② 対戦

いずれかのチームが、総ゲームの過半数を勝利するまでプレイされる一連のゲームのことを指します。

（例：1 戦中 1 勝する（Bo1）、3 戦中 2 勝する（Bo3）など）

勝利チームはトーナメント上位の対戦に進出します。

③ 故意ではない切断

ゲームクライアント、プラットフォーム、ネットワーク、又はPCの問題や不具合に起因して、ゲームの接続が切れた状態。

④ 故意による切断

選手の行為（例：ゲームを終了したなど）によって、ゲームの接続が切れた状態。選手の故意に関わらず、切断に至る選手の行為一切が故意とみなします。

⑤ サーバークラッシュ

ゲームサーバー、あるいは会場のインターネット不安定性の問題により、ゲームの接続が切れた状態。

2)対戦用のパッチ及びサーバー

予選：ライブサーバーで使用されている最新のパッチにて実施します

決勝：選手権事務局の指定するトーナメントサーバー及びパッチを適用し実施します。

3) キーボード(WASD)入力に関して

当大会では、ゲーム内の設定に準じ「キーボード(WASD)入力」を使用して大会に参加できます。

ただし、パッチ変更やゲーム側の不具合、選手権事務局の指定するトーナメントサーバー

及びパッチ、その他運営事務局で解決できない事態を原因として、「キーボード(WASD)入力」が使用できない場合、「マウス（ポイント&クリック）入力」を使用し大会に参加して頂きます。

4)新チャンピオン及びリワークに該当するチャンピオンの制限

ライブパッチで新規チャンピオンが追加またはリワークされてから 14 日間、

該当チャンピオンはグローバル BAN(使用禁止)となります。

5)対戦用カスタムルーム

大会当日、運営事務局から該当 Discord チャンネルにて、

原則試合開始の 10 分前までに各チームの代表者に試合の進行のアナウンスを行います。

各対戦におけるトーナメント表で上側、また左側にいるチームが対戦の部屋立てを行ってください。

「名前」「パスワード」等は当日運営事務局から指示があったものを使用してください。

部屋立てを行ったら大会 Discord の該当の対戦テキストチャンネルにて、

部屋立てをした旨を報告してください。

トーナメント表の下側また右側にいるチームは、

相手チームからの部屋立てのアナウンスを確認次第、速やかにカスタムルームに入室してください。

各自でカスタムルームを作成してプレイすることは、選手権事務局からの指示がない限り一切認められません。また各チームは 6 名以上をカスタムルーム内に参加させてはいけません。

選手は以下の順序でカスタムルームにアクセスし、整列してください。

なお、BANPICK 進行中のピック順の変更は問題ありません。

- ① トップ
- ② ジャングル
- ③ ミッド
- ④ ボット
- ⑤ サポート

6) 対戦の開始

部屋立てを行ったチームの代表者は対戦する両チームの 10 人の選手全員が揃ったら、

Discord にて運営事務局宛にカスタムルームのスクリーンショットを送り、

テキストチャンネルで報告してください。

対戦する両チームの 10 人の選手全員がカスタムルームに揃い、試合開始時間になったら、両チームの選手はカスタムルーム内のチャット機能を用いて相手チームが準備完了かの確認をお互いに取り合います。

双方の確認が取れていない状態で、ゲーム開始の指示をしてはならないものとします。

運営事務局が部屋立て報告を確認次第、ゲームの開始指示をアナウンスします。

指示に従ってゲームを開始してください。

双方の確認が取れた後、試合開始予定時刻あるいは試合開始時刻から 5 分以内に選手権事務局は対戦を開始するものとし、5 分以内に相手チームが準備完了が出来なかった場合、当該チームは失格とします。

7) ピックミス

ピックミスをした場合、相手選手がチャンピオンのロックをする前に対戦を中止し、大会 Discord チャットにて選手権事務局に報告をおこなってください。

選手権事務局の確認が取れ次第、直に対戦ロビーを立て直し、ピックミスの直前までの状態を維持した上で進行を再開します。

8) 選手の切断

ゲーム中に選手がサーバーから切断された場合、他の選手は以下のように対応することができます。

また選手が運営事務局へ通知、もしくはゲーム進行の中断（以下、ポーズ）することなくプレイヤーが故意に切断した場合、運営事務局は選手へプレイの中断を強制する場合があります。

① 予選、準決勝、決勝のゲーム中選手が 1 人でもゲームから切断された場合

そのままゲームを継続するか、ゲームのポーズをすることができます。

② ポーズ中の選手によるコミュニケーション

全対戦チームの公平を期すために、ポーズ中に選手が他プレイ中の選手・コーチ・顧問・

控え選手とコミュニケーションを図ることは、いかなる形であれ認められません。

但し、ポーズの原因を特定し、回復するために指示された場合に限り、選手権事務局との

会話が認められます。選手権事務局は、その単独の裁量によってポーズ中のチームの会話を許可し、ゲームの状態を話し合うことがあります。

③ ゲームから切断された選手が復帰できなかった場合

運営事務局は切断された選手が、ポーズ開始から運営事務局が定める時間内に試合を続行できないと判断した場合、運営事務局の判断によりその選手が属するチームへ 4 対 5 で試合を続行し完了させるか、棄権を命じることができます。チームが 4 対 5 の試合を続行することを決定した場合、復帰できなかった選手が、たとえその試合中にプレイが可能となったとしても、再び試合に参加することはできません。

9)選手によるポーズの手續

チームや選手は、サーバーへ接続できない、マウスが効かない、画面の動作不良などプレイ機器にトラブルが発生した場合に限り、ゲーム内チャットで「/pause」と入力し、ポーズをすることができます。

その場合、ポーズをしたチームは直ちに運営事務局へポーズの理由と再開予定時間を説明する必要があります。

再開の準備ができた場合、選手権事務局から再開許可を得た後に両チームはゲーム内チャットで再開の準備ができたことを宣言し（例：“ready”）、双方の同意のもとにゲームを再開することができます。

〈ポーズできる時間の上限〉

試合中は、1 試合 15 分間だけポーズをすることができます。

意図的な遅延行為や正当な理由のないポーズをした場合、不公正なプレイとみなされ、

選手権事務局の裁量によりペナルティが科されます。

10)選手権事務局によるゲームの中断

① ゲームの中断

選手権事務局はその単独の裁量により、いつでもゲームの中断・ポーズをすることができます。

② ゲームの再開

中断・ポーズ後、選手権事務局から全選手が通知を受け、再開できるタイミングで、選手権事務局がゲームの再開を行います。

11)対戦後の処理

勝利チームはリザルト画面のスクリーンショットを取り、

Discord 内チャットにて報告してください。

※試合結果報告テンプレートは運営事務局から大会前日までにアナウンスされる大会ガイダンスにて記載

12)遅刻

大会当日、運営事務局が定める Discord チャンネルにて、

チームの代表者はチェックインチャンネルにてチェックイン投稿を行うこと。

チェックイン開始から 10 分経ってもチェックインが確認できないチームは棄権として処理致します。

また対戦開始時刻までに選手の全員が対戦の準備を整えていない場合、

そのチームは開始アナウンスから 5 分経過時点で当該試合を敗北とします。

遅刻しなかったチームは、当該対戦のカスタムルームのスクリーンショットを撮影し、

大会 Discord 内にて報告してください。

13)選手の交代

ゲーム中の選手の交代は認められません。

ただし、Bo3 で実施する決勝戦はゲームごとに控えの選手と交代することは可能とします。

なお、選手交代は前試合の対戦終了後 5 分以内までに選手権事務局に報告してください。

14) コーチについて

各チームはコーチを1名のみ事前に登録することができます。

登録後、コーチの変更はできません。

オフラインで行われる決勝大会においては、選手の大戦席登壇前や競技運営が許可したタイミングに限り、選手へ助言をすることができます。

許可されていないタイミングでの助言が発覚した場合、当該チームをペナルティの対象といたします。

6 選手の手為

1) 競技に対する姿勢

各チーム、選手は本大会におけるすべてのゲームにおいて常に正々堂々と全力を尽くし、スポーツマンシップに則ってフェアプレイをしなければなりません。

2) 本大会中の禁止手為

以下の手為は反則とみなされ、選手権事務局の裁量によりペナルティが科せられます。

① チームの降参、試合放棄（サレンダー）

スポーツマンシップに則り、選手は最後まで対戦を行ってください。

② 共謀

共謀とは、相手選手に不利益を与えるための1人以上の選手及び、共謀者間の同意を指す共謀手為の例として、以下があります。

ア. 手抜きプレイ

イ. 共謀者と選手間における電子的あるいはその他による信号の送受信

ウ. 報酬その他の理由により意図的に負ける手為、あるいは他の選手にそうするように働きかける手為

③ ハッキング

ハッキングとは、選手もしくはチーム、または選手やチームを代理する者によるLoLに対する一切の改造を指します。

④ 意図的なバグの利用

⑤ ゴースティング

観戦モニターを見る、または見ようとする手為及び、対戦が配信されている場合、配信を見る手為

⑥ 成り済まし手為

別の選手のアカウントを使用してのプレイ、誰かを他の選手のアカウントを使用してプレイするよう勧誘、誘導、奨励、または指示する手為

⑦ チートの手為

チート機器及び、チートプログラムの使用、またはこれに類似する、信号装置や手信号などのチートの手為の使用

⑧ 故意による切断

適切かつ明示された理由によらない故意による切断

⑨ 選手権事務局、主催者、協賛社、合同会社ライアットゲームズ、LoLに関する発言

選手権事務局、主催者、協賛社、合同会社ライアットゲームズまたはその関係会社、あるいはLoLの利益に悪影響を与えるないし与えようとする言動、ならびに他人への強制、支援

⑩ 冒瀆及び差別的な発言

猥褻、無礼、下品、侮辱的、脅迫的、攻撃的、誹謗的、中傷的、名誉棄損となる、その他不快あるいは好ましくない言葉の使用、ならびに憎悪を煽る行為や差別的な行為の奨励または助長

⑪ 侮辱的な言動、行為

相手チームのメンバー、ファン、選手権事務局へ向けての、侮辱的、嘲笑的、破壊的あるいは敵対的な行為またはジェスチャー、ならびに他人への強制、支援

⑫ 攻撃的な行動

選手権事務局、相手チームのメンバー、観客への暴行、暴言

⑬ 秘密保持

選手権事務局、または合同会社ライアットゲームズもしくはその関係会社から秘密情報として提供された情報の開示

⑭ イベント会場への干渉（決勝）

照明、カメラ、その他の会場内の機器への接触、干渉
また、椅子、テーブルその他会場内の設備の上に立つ行為

⑮ 不正な通信

選手権事務局の指示を無視した、すべての携帯電話、タブレットあるいはその他の音声認識及び、または通知音の鳴る電子機器の使用、また対戦中の自チーム出場選手以外との e メールやチャット、SNS の使用

⑯ コーチング

対戦中に自チーム出場選手以外からコーチングを受けること

⑰ 選手権事務局の判断

選手権事務局の単独の裁量によって、選手権事務局が定めた本ルールに違反すると判断された行為、不作為、または振る舞い

⑱ エモートの故意での使用禁止

試合における故意のエモートの使用

⑲ 配信等の禁止

各プラットフォームでの配信、Discord 等での画面共有行為

⑳ WASD 操作

本大会においては WASD 操作での参加は禁止とする

3) 本人確認

選手権事務局が選手に本人確認を要請した場合には、選手はその指示に従い、本人確認に応じる

必要があります。

なお、その際に本人確認が取れなかった場合にはペナルティを科す可能性があるものとします。

4) ペナルティの付与

選手権事務局が、その単独かつ絶対の裁量によって、反則に当たると判断する行為を行った、またはこれを試みたことが判明した人物にはペナルティが科されます。

ペナルティの性質及び程度は選手権事務局の単独かつ絶対の裁量により決定されるものとします。

5)ペナルティ

いずれかのチームメンバーが前述の規約に違反したことが明らかとなった場合、選手権事務局は、次のペナルティを科すことができます。

- ① 口頭での警告
- ② ゲームの没収
- ③ 対戦の没収
- ④ 本大会への参加資格の剥奪

本大会への参加資格が剥奪されたチームは本大会に関連するあらゆる権利を喪失するものとします。

〈公表権〉

選手権事務局は、選手がペナルティを受けた旨の決定を公表することができる。各チーム及び選手はペナルティを受けた旨を公表された場合に、これについて主催者、協賛社、合同会社ライアットゲームズ及びその親会社、子会社、関係会社、従業員、エージェント、及び業者に対して法的措置を取る権利を完全に放棄することに同意したものとみなされます。

7 ルール意図

1)最終決定権

本ルール、選手の資格、本大会のスケジュール及び演出、ならびに不正行為に対するペナルティに関する

すべての決定は選手権事務局が単独で行い、かかる決定は最終的なものとします。

本ルールに関する選手権事務局の決定に対して上訴することはできず、損害賠償金又はその他の法的な救済を求める申し立ては行わないものとします。

2)ルールの変更

本ルールは、本大会のフェアプレイ及び完全性を確保するために、選手権事務局によって、適宜、改正、変更され、補足が加えられます。

3)本大会の利益

選手権事務局は、常に本大会に関与する各関係者の利益を守るために必要な行為をする権限を有します。本ルールにおいて具体的な記載がないことをもとに選手権事務局は制約されることなく、また本大会に関与する各関係者の利益に反する行為をする団体等に対して、いかなる処分も自由に行うことができるものとします。

4)大会における臨時の裁定・大会進行の施行

本大会における予選及び決勝において、大会の進行を円滑に進めることができない事象またアクシデントが確認された場合、選手権事務局及び大会運営は、試合の無効等を含む大会の公平性及び完全性を考慮した臨時の裁定・大会進行を施行します。全ての参加選手は上記の裁定・大会進行の施行に従う義務を有します。